

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566) 22-2111
FAX (0566) 25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 鈴木 豊
幹事 小川 耕 示
会報委員長 丹 羽 克 誌

2013 ~ 2014年度 国際ロータリー ロンD.バートン 会長テーマ

Engage Rotary Change Lives ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2833回例会プログラム

[当年度=25回目; 当月=3週目]

2014年(平成26年) 2月17日(月)

1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
……それこそロータリー
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(2/24) ……
クラブフォーラム(国際奉仕委員会)
卓話「タイ・チェンライ(刈谷の森)
植林活動報告」
講師 伊藤 節夫 会員
(紹介者 吉原 孝彦 会員)
(3/3) ……
永年在籍会員表彰(60周年実行委員会)
- 13:00 13. 本日のプログラム
卓話「ジョークの由来とその効能
—ユダヤ民族の歴史を調べて—」
講師 坂 茂 会員
(紹介者 前田 孝司 会員)
14. 謝辞
15. 点鐘……〈会長〉
16. 閉会宣言
13:30 17. 散会

出席

会員総数 96名 出席免除 26名
出席義務者+免除者の内例会出席者 83名
欠席 9名 出席率 89.16%
前々回(2/3)の修正出席率 100%

会長報告

- 1) 2月13日、さなげカントリークラブにて知立 RC
と合同の親睦ゴルフ例会が開催されました。2月例
会は、横山宜幸会員がグロス84、ハンディキャップ
5、ネット79で優勝されました。合同親睦ゴルフの
部では、鈴木豊会長がグロス95、ハンディキャップ
21.6、ネット73.4で優勝しました。
- 2) 2月12日、刈谷市交通安全推進協議会に参加して
まいりました。
- 3) 2月17日、刈谷市緑化推進協議会に参加してまい
りました。
- 4) ポールハリスフェローのマルチプルバッチ 1回が
届いておりますので、平野和一会員、杉浦世志朗会
員にお渡しします。



- 5) 地区委員会の委嘱状が届いております。杉浦文雄
会員には社会奉仕委員会副委員長、久米博明会員に
は資金推進委員会副委員長の委嘱状をお渡しします。
- 6) 2012-13年度年次寄付額一人当たり第3位の表彰
バナーを杉浦会長エレクトが財団セミナーで頂いて
まいりました。

幹事報告

- 1) 本日、例会終了後、特別会議室にて60周年実行委員会を開催致しますので、ご関係の方はお集まり下さい。
- 2) ローターリー財団寄附金領収証をメールボックスに入れさせて頂きました。

委員会報告

●創立60周年実行委員会

- 1) 創立60周年実行委員会の記念誌委員会からお願い致します。60周年記念誌に掲載する3点の写真(ご家族、仕事、趣味)の提出を3月20日までにお願いします。あまり固く考えずに、皆さんの個性が出るような楽しい写真をお願い致します。

会長あいさつ

冬の風物詩・切り干し大根のある風景

鈴木 豊



青く澄んだ冬空と枯れ田。その中で、白く輝くように網棚に広げられた切り干し大根は、この地方を代表する冬の風物詩。この時期になると新聞やテレビなどで紹介されます。

東境町の大根は、この地域独特の赤土が糖分の多い青首大根の生産に適しており、江戸時代から刈谷を代表する特産物として知られていたようです。切り干し大根作りが始められた時期は定かではありませんが、尾張地方の例からみても、江戸時代から行われていたと考えてられます。

伊吹山を抜けた冷たい北風は、尾張平野を駆け走り、70キロ離れたこの地まで一気に吹き抜けます。境川で再び冷気を帯びた風は、手足がちぎれるような厳しさであったに違いありません。東境の人々は家族総出で大根を掘り、用水で洗い、その場で突き、細くなった大根を並べたのでしょうか。手は赤く腫れ、血が滲んできます。泣きじゃくる赤子を背に、授乳の時間を惜しんで懸命に大根を並べる光景が、一面に広がっていました。

冬空に晒された切り干し大根は、数日で甘みを増し、栄養十分の保存食に生まれ変わります。地域の人々の大切な食事として、また一部は年貢のために商人の手に渡り、知立宿で食されたのでしょうか。

明治・大正・昭和と時代を経て、この地方の大根は東京の練馬大根に並び称されるまでになり、土付き大根として全国に出荷されました。しかし、物流の発達に伴い、全国各地の大根が大都市に出荷されるようになり、東境町の大根生産も減少。現在では、切り干し大根を作る農家も10件程度とか。網棚から漂う匂いを懐かしく思い、網棚の減少に寂しさを感じるのは私一人でしょうか。

(2)

卓話

「ジョークの由来とその効能 —ユダヤ民族の歴史を調べて—」

坂 茂 会員



会報「Weekly」にジョークを掲載し始めてからすでに10年になるうとしております。紹介したジョークの数は700話を越えております。このあたりで、あらためてジョークとは一体どんなものであるかを見詰め直してみることにしました。

ジョークを見ておきますと、ユダヤ人のジョークが数多く出てきます。ユダヤ人はジョークの元祖であり、また笑いの民族、ジョークの民族でもあります。

そこでユダヤ民族の歴史を調べてゆけば、ジョークに関しての諸々のことが明らかになると考えて取り組むことに致しました。

ユダヤ人は代々長い間にわたって笑いを好みジョークを楽しんできております。その結果ジョークのおかげで世にも稀にみる大変に優秀な民族となってきております。

どうして優秀な民族かといいますと、ノーベル受賞者や世界的著名人の数が抜群に多いことであります。その内容については資料に掲載してありますのでご覧になって戴きたいと存じます。

かくも素晴らしい人材が数多くでているのは何故でしょうか。それはユダヤ人は長い間ジョークを愛好し続けてきた結果として知能が格段と向上してきているということでもあります。

それではジョークを愛好し続けていると知能が向上し頭がよくなるのは何故なのか、どんな理由によるのかの説明入って参ります。実はこのところが今回の卓話の焦点となっているところであります。

ジョークは意外性に富んでいるので面白いし、常に意外性を求めているので、頭脳の絶好の訓練になります。

ジョークのねたを探し出すときは、現在の自分を取り巻く生活慣習や既成の概念の殻から飛び出して自由奔放に見詰めるので、思い切った意外性のある発想が出てきます。

ジョークはいつもお笑いのねたとして意外性のある新らたなものを求めております。それは新らたな思考の思いつき、或はひらめきを呼び求めることでもあります。

長年にわたり常に新らたなものを求め続けておれば、その結果として発想力が向上し頭が訓練されてよくなることは誰しも頷けることです。ここまではこの筋の文献で述べていることです。

でも今少し説明に不十分さを感じ、心からの賛同(approve)しかねますので、更に文献を調べましたところ、ユダヤ人の歴史の中の格言として

「考えにゆきづまったら、ジョーク的発想から再出発せよ。道は必ず開ける。」というのが見つかりました。

まさに困った時にどうするか、次の進め方を求める方

程式を示しております。

これこそジョークの効用の切札であります。また今回の卓話の Highlight であり、オモテナシでもあります。例えば企業経営においてはこの様に困る場面は必ずあって、常にこれを克服して乗り切ってきております。この連続が企業経営であるといえるでしょう。いつまでも在来のままではいずれ負け犬となってしまいます。

製品メーカーであれば当面既存製品をどのように進化させてゆくか、また次世代製品はどう選択するか、開発着手をどうするかなど変化してゆかねばなりません。結局は innovate する能力、create する能力を身につけねばなりません。この能力を身につけるのにジョークによる訓練が効を奏するのであります。従ってジョーク感覚を身につけることは企業の業績向上に役に立つと敢えて申し上げておきます。

これは学問の世界、芸術の世界でも全く同様であります。

以上縷縷述べてきたジョークの効用を裏付けているのがかの有名なアイン・シュタインの言葉であります。

アイン・シュタインは1905年に相対性理論を発見し一躍有名になり、20世紀最高の天才といわれております。そのアイン・シュタインの言葉に

「私はジョークと笑いを好んだことによって、相対性理論を発見することができた。」とあります。

これまでの説明でジョークの効用として発想力が向上し頭がよくなることがお判りのことでしょう。

ところで「頭がよくなる」とはどういうことであるかを念のため説明することにします。

学校で教師から、また大学で教授から教えられたことを習得して覚え込み、また実社会では先輩や上司から教えられたことをよく理解して、それらを踏み台として更に次の段階へ押し進める能力を向上させることが頭がよくなると申し上げたいのです。この能力はジョーク感覚を身につけることにより向上するのです。

以上の説明で、ジョークの効用つまりジョークの有難さがお判りのことでしょう。

ところで今迄のお話の冒頭にユダヤ人は代々長い間にわたって笑いを好みジョークを楽しんできたことと申しあげましたが、ユダヤ人は何故ジョークを好んできたのかの説明をしておりません。これについて調べたことを以下述べることにします。幾分ややこしい所もありますが我慢して読み続けて下さい。

ユダヤ人はユダヤ教を信仰しているユダヤ教徒であります。ユダヤ教は天地創造したとされる神ヤハウエ（エホバ）を奉じている一神教でヘブライ聖書を聖典としており、キリスト教の源流でもあります。ヘブライ聖書は後にキリスト教では旧約聖書と呼ばれております。

ユダヤの国は西暦70年にローマ帝国によって滅ぼされ、パレスチナに住むユダヤ人は自分の国がなくなり、ヨーロッパの国々に散在するのですが、キリストが西暦30年にローマ軍によって十字架刑に処せられた時、ユダヤ人はユダヤ教徒であるキリストを宣教行為がユダヤ教の教義に背いた異端者としたことによって、後に勢力を増大してきたキリスト教徒から「神キリスト殺し」の罪を着

せられて、よその扱ひされて苛められ通しで人並みの職業にもつげず、1900年もの長い間、大変に無惨な生き方をしてきました。くわしくは資料を参照して下さい。

ユダヤ人はこのような遣る瀬ない気持ちをジョークによる笑いによって和らげており、長い間代々ジョークを愛好し続けてきております。これが在来の文献による説明であります。

ところがそのような悲惨な状態のときには笑う気持ちになれないのが一般的ではないでしょうか。そこでどうして笑う気持ちになれたかについて、ユダヤ人のその苦難な時代の歴史を調べておりますと当時の諺に「神の前では泣け、人の前では笑え」とあるのが発見されました。これはヘブライ聖書に基づいた言葉であることが判りました。

ヘブライ聖書には「笑い」の文字が29回記載されております。ユダヤ教の信仰の厚いユダヤ人は日常用語であるヘブライ語で書かれたヘブライ聖書をよく読みよく理解していて、苦しい時も「笑い」によって朗らかに過すのが神の教へであると信じてジョークを愛好し続けてきたと考えれば合理的な解釈となります。くわしくはこれまた資料を参照して下さい。

2 月度刈谷 RC ゴルフ例会

平成26年2月13日(木)

於：さなげカントリークラブ

成績	氏名	G	H	N
優勝	横山 宜幸	84	5	79
2 位	磯部 一智	83	5	78
3 位	佐野 彰彦	94	15	79
B B	神谷 龍司	115	15	100



合同親睦ゴルフ 優勝 鈴木 豊 会長